

おんぶの方法なと学習

大船渡で子育てスクール

大船渡市のNPO法人・こそだてシッパ（伊藤悦子理事長）による第4回子育てスクール「だっことおんぶの練習」は19日、同市盛町のショッピングセンター「サン・リア」内の「す

くすくルーム」で行われた。気仙に住む親子15組が参加し、育児に役立つ適切なおんぶの方法などを学んだ。同法人は気仙地域で子育て支援事業を展開している。今回は、親と赤ちゃんの体への負担を少なくするだっことおんぶの方法がテーマ。東京都で新生児の家庭訪問などを行っている助産師の渡邊寛子さんと熊澤貞子さんを講師に迎え、同法人スタッフがサポートに回った。

この日は母子のみならず、父親も複数人参加。安撫なさらしのみのできるおんぶの仕方などを学び、さらしが体に当たる場所など、講師らから細かい指導を受けながら反復練習に励んでいた。



さらしを使ったおんぶの方法を学ぶ親子

サン・リア